

記者発表

東九州自動車道・トンネル掘削土砂の盛土場周辺における水質検査結果について

東九州自動車道の芳ノ元トンネル、丸目トンネルの掘削土砂から、土壤環境基準値を超えた有害物質が確認されました。そのため、その掘削土砂を用いて構築した盛土場周辺の表流水と地下水の水質検査を行ったところ、表-1のとおり環境基準値を超える有害物質は検出されず、安全な状態が確認されたので報告します。

表-1 盛土場付近の河川水および地下水の水質検査結果

トンネル名	採取場所	溶出量			
		砒素 (mg/ℓ)	ほう素 (mg/ℓ)	ふっ素 (mg/ℓ)	鉛 (mg/ℓ)
丸目トンネル	清武盛土場 表流水	ND	ND	ND	ND~0.001
芳ノ元トンネル	本線盛土場 表流水	ND~0.001	ND	ND	ND~0.005
丸目トンネル	本線盛土場 地下水	ND	ND~0.50	ND~0.18	0.001~0.003
環境基準値		0.01	1.0	0.8	0.01

※※ ND：定量下限値未満（含まれる量が極端に少なく測定ができないことです）

なお、両トンネルの掘削土砂には自然的原因で「砒素」、「ほう素」、「ふっ素」、「鉛」の有害物質が含まれていますが、その溶出量試験結果は次のとおりです。

トンネル掘削土砂の溶出量試験結果

トンネル名	溶出量			
	砒素 (mg/ℓ)	ほう素 (mg/ℓ)	ふっ素 (mg/ℓ)	鉛 (mg/ℓ)
丸目トンネル	0.012~0.033	0.91~1.70	0.4~1.1	0.023~0.061
芳ノ元トンネル	0.002~0.061	0.58~1.70	0.1~0.3	ND~0.006
土壤汚染対策法 土壤溶出量基準値	0.01	1.0	0.8	0.01

※ 溶出量試験：土壤に水を加えて、水1ℓに溶け出す有害物質質量 (mg) を測定する試験方法

※※ ND：定量下限値未満（含まれる量が極端に少なく測定ができないことです）

現在、トンネル掘削を中止し、土砂の搬出先である「清武盛土場」、「本線盛土場」については、降雨による有害物質の溶出を防止するため盛土場にシートを敷設しています。

今後は、さらに安全に工事を進めるため盛土場周辺の河川と地下水の調査を引き続き行うとともに、有識者の指導を仰ぎ、安全を最優先とした対策を検討していきます。

□お問い合わせ先

宮崎河川国道事務所 西技術副所長、五反田工務第三課長

TEL (代) 0985-24-8221 FAX 0985-24-8258

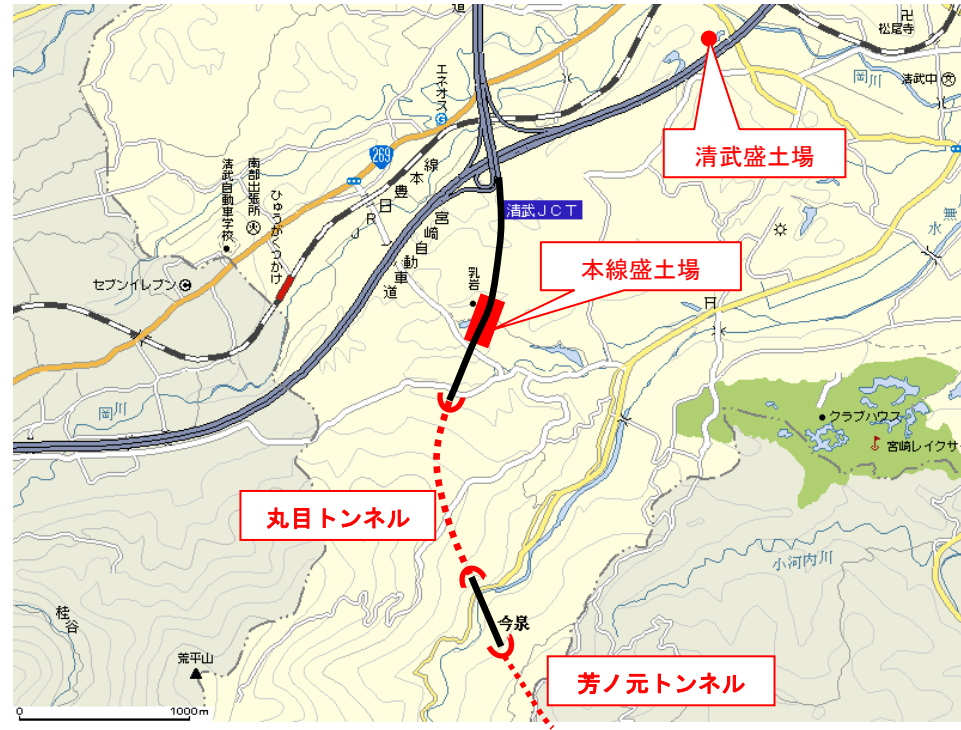
国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
NEXCO (ネクスコ) 西日本 九州支社

現場位置と現状

位置図①



位置図②



トンネル坑口 (芳ノ元トンネル)



トンネル坑口 (丸目トンネル)



本線盛土場

